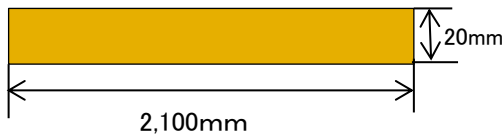


見切り材 施工要領

製品寸法図

上面図

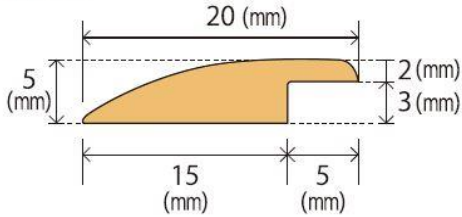


裏面図



両面テープ

構造図



施工手順

① 保管

見切り材はフラットな床面に寝かせた状態で保管をお願いします。
縦置きしたり段積みされると湾曲したり破損する場合があります。

② 取り付け箇所の状況を確認

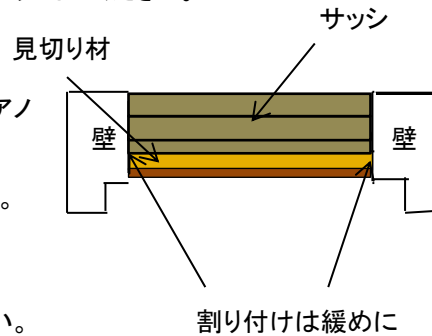
取り付け箇所が平坦であることを確認してください。段差があるところでの施工はできません。

③ 寸法測定およびカット

取り付け箇所の壁やサッシに沿って、寸法を測定して下さい。
貼り付け時は見切り材の両端部(壁面側)に突きついでなく、適度の隙間をあける必要があるため、実測値より短か目にカットして下さい。(大体0.2mm程度)
カッターナイフもしくはノコギリを用いて必要寸法に表面からカットして下さい。
切断面はサンドペーパー等でバリを取り除いてください。

④ 貼り付け

裏面の両面テープの貼ってある箇所以外に瞬間接着剤(シアノアクリレート系)を等間隔(約5cm程度)に塗布してください。
見切り材底部に粘着加工されている剥離紙をはがし、壁やサッシに沿って、直線状にまっすぐ貼り付けしてください。
この場合片側共にゆるめの割付をお願いします。



⑤ 養生

しっかり圧着させ、十分に接着していることを確認してください。

リリカラレイフロアの施工

① 見切り材が床面に十分に接着されていることを確認してください。

② 見切り材にリリカラレイフロアを取り付ける場合はなるべくタイル面と床面が平行になるようスライドして差し込んでください。 見切りに差し込むタイルは極端に小さくならないよう割付をして下さい。 タイルを詰め過ぎないようにゆるめに差し込んでください。



施工上の注意

- 見切り材の施工は必ずリリカラレイフロアの施工前に行ってください。
- しっかり固定された下地に施工してください。
また下地に湿気がないことを確認し、接地面の汚れ、ほこり、油分等は完全に拭取って且つ乾燥をさせてください。
貼り付け箇所隙間に隙間や継ぎ目がある場合はパテ等で処理しフラットに床面を仕上げてください。
- 貼り付け時は正確な位置に一度で貼付して下さい。貼り直しはしないで下さい。
- 見切り材にリリカラレイフロアを突き付けて差し込むとリリカラレイフロア自体が浮き上がったり、見切り材が剥がれる可能性があります。

使用上の注意

- 頻りに歩行するところや重量物(車イス、台車等)が通るところはまれに見切り材が変形する場合がありますので、ご承知置きください。
- 施工後、下地に湿気が発生する箇所は見切り材が浮いたり、剥がれやすくなる可能性があります。
- リリカラレイフロアを貼り変える場合、見切り材に差し込んだタイルは差込口と反対側を先に剥がし、タイル面と床面が平行になるようスライドさせてから引き剥がすようにしてください。
差込口から引き剥がしたり無理に下から上に引き剥がすと見切り材が浮いたり剥がれたりする恐れがあります。

